

頁/行	誤	正
4、前6	紀元二七年	紀元前二七年
8、前4	現在では萎み	今となつては
8、前5	上がり、	萎縮し、
12、前5	破れるや、間髪を入れず変身し、	破れるや否や、間髪を入れずに
16、後1	混合	混交
17、後6	帰着	帰結
32、前6	(過越の祭と除酵祭、	(〔過越の祭と〕除酵祭、
32、前7	大贖罪日と	<削除>
47、前3	職種	職権
47、後4	逃散	逃亡
66、後7	なおガラー 21 参照) やがて	ガラー 21 参照) やがて
66、後6	アンティオキア教会の筆頭者であった	アンティオキアで成立した教会の筆頭者
67、前1	ある。	ある。事実、アンティオキア教会は、イエス派の 一大拠点となつて行つたのである。
69、前7	多くの人口に膾炙した言葉	人口に膾炙した多くの言葉
74、後4	使命とでは、	使命との間には、
74、後2	構造と	構造をもつた
77、後7	自らの権力を異常なまでに肥太らせ、	その権力を異常なまでに肥え太らせ、
81、前3	前史	前歴
88、後7	同じ年に・カルキスの	同じ年にカルキスの
93、後4	カリマス的	カリスマ的
100、後3	イドマヤ	イドマヤ
104、後4	焼き出され、	焼き尽くされ、
108、後2	おいては律法に	おいては、律法に
同	筆頭に立つ	陣頭に立つ
109、後5	旅発つ	旅立つ
114、前5	ユダヤ人	ユダヤ教
114、前6	伝道をして	宣べ伝えて
115、後7	apostolic decree	Apostolic Decree
118、前1	北ガリラヤ	北ガラテヤ
118、前2	南ガリラヤ	南ガラテヤ
125、後2	一同に	一堂に
128、後5	揚げた	掲げた
134、後2	Plinius	Plinius
141、前3	ダビデの末	ダビデの末裔
141、前7	議会は	法院は
141、前9	タンナイムの第二	タンナイーム第二
146、前7	提示	描出
180、前8	終焉した。	終結した。
181、前4	インフレを起こし、	価値の下落を招き、
182、後5	ヤブネ時代はバル・	ヤブネ時代は、バル・
同	終焉した。	終つた。
187、前7	甚大な	強大な
188、前2	ミシュナまでの	ミシュナ成立までの
196、前3	一六一ノ一六九頃	一六一 - 一六九年の間
202、前9	エペフェソ	エフェソ
206、前3	磔死	磔死
214、前6	例えば(伝承史的に異説はあるものの)以下の言葉 は東洋思想にも近似する内容を持つ	例えば以下の言葉は、究極者の臨在を目前の日常 事と同定する点においてむしろ東洋思想に近似 する内容を持つ

加えて 年表 12 頁、年代欄、下から 7 行目 :「47 頃」を一行下げ、説明欄の「パウロの『第 1 回伝道旅行』」と並ぶようにする。